

2003年から続けてまいりましたラ・フォンテヴェルデによる『モンテヴェルディマドリガーレ集全曲演奏シリーズ』も今回の「Epilogo」で終幕となります。この公演では、バロックオペラの創始者としても名高いモンテヴェルディの3大オペラ「オルフェオ」、「ポッペアの戴冠」、「ウリッセの帰還」の中から名シーンをお届けいたします。若き日のマドリガーレ作品も含む変化に富んだステージを、宗次ホールの美しい響きでどうぞお楽しみください。

鈴木 美登里



「ラ・フォンテヴェルデ」La Fonteverde

鈴木美登里が主宰し、2002年に結成された日本では数少ない本格的マドリガーレ・アンサンブル。16～17世紀初頭イタリアのマドリガーレをレパートリーを中心に据え、マドリガーレの本質である『言葉と音楽の融合』を目指す。年に2回の定期演奏会とクリスマスコンサートを中心に着実な活動を展開。ソリストとしても活躍中の実力派メンバーによって構成されている。アルテ・デラルコ・レーベルからリリースされた1st. アルバム『響きの文学』はレコード芸術誌準特選盤、『カルロ・ジェズアルドの芸術』は朝日新聞『for your Collection』推薦盤、レコード芸術特選盤に選ばれる。2013年よりクラウディオ・モンテヴェルディのマドリガーレ集全9巻の全曲演奏と録音を開始。現在「第5巻」までのCDがリリースされ、いずれも高い評価を受けている。2018年9月に行われたクロアチアの「ヴァラジュディン・バロック音楽フェスティバル」に出演し、最優秀演奏賞を獲得した。

「マドリガーレ」は14世紀イタリアでその原型が誕生し、当時北イタリアの宮廷で活躍していたフランドル人たちによって発達していきました。16世紀初頭に復興が高まったペトラルカの叙事詩をきっかけに、作曲家たちは当時流行した物悲しい恋愛詩に競って曲を書きました。こうしてマドリガーレは当時ヨーロッパ音楽の主流となり、ルネサンス・イタリア音楽を象徴する一大分野にまで成長しました。この時代のほとんどすべての作曲家がマドリガーレを作曲していますが、それらの作品群に触れるとき、このジャンルがいかに劇的で表情豊かなものであり、ひいては当時のイタリアの文化がいかに豊かなものであったかをうかがい知ることが出来ます。

小笠原 美敬 (バス) Yoshitaka Ogasawara
 谷口 洋介 (テノール) Yosuke Taniguchi
 上杉 清仁 (カウンターテナー) Sumihito Uesugi
 鈴木 美登里 (ソプラノ) Midori Suzuki
 中嶋 克彦 (テノール) Katsuhiko Nakashima
 染谷 熱子 (ソプラノ) Netsuko Someya



ヴァイオリン
若松 夏美
Natsumi Wakamatsu



ハープ
伊藤 美恵
Mie Ito



ヴァイオリン
荒木 優子
Yuko Araki



リュート
金子 浩
Hiroshi Kaneko



チェロ
鈴木 秀美
Hidemi Suzuki



チェンバロ
上尾 直毅
Naoki Ueo

宗次ホールの情報はこちら！

当日券情報 などつぶやいています

twitter



<https://twitter.com/munetsughall>



他にも各SNSにて情報発信中！

フォロー
お待ちしております

交通アクセス
地下鉄栄駅12番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
 TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
 E-mail info@munetsughall.com
 URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター
 営業時間:10:00~16:00
 ※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業